

NITS・茨城県教育	実施機関名・連携機関名 実施機関：茨城県教育研修センター
研修センターコラボ	テーマ：学びやすいオープンな場としてのオンライン研修
研修プログラム	研修等名：【NITS・茨城県教育研修センターコラボ研修】 これからの学びを考える Online Learning ～G I G Aスクール時代の学びを考える～
支援事業報告書	開催日時 第1回：令和3年10月27日（水）13:30～15:30 第2回：令和3年11月10日（水）13:30～15:30 第3回：令和3年11月22日（月）14:00～16:00 第4回：令和3年12月1日（水）14:00～16:00 第5回：令和4年1月11日（火）14:00～16:00 開催場所：茨城県教育研修センター（Zoomによるオンライン開催） 参加人数：470人 参加者の属性：教職員（233人）、教育機関（204人）、大学関係（33人）

内容：

- 第1回：「資質・能力」を育成するパフォーマンス評価
京都大学教授 西岡 加名恵
- 第2回：「人」でつくる持続可能な社会～学校魅力化による地域創生～
島根大学教職大学院准教授 中村 怜詞
- 第3回：個別最適な学びを通じた資質・能力の育成
東北学院大学教授 稲垣 忠
- 第4回：読み書き困難のある児童生徒への支援～ICT活用と合理的配慮の視点から～
東京大学先端科学技術研究センター特任教授 平林 ルミ
- 第5回：一人1台タブレット端末下における情報モラル
静岡大学准教授 塩田 真吾

当日の受講の流れ

Zoomに入室、講義、チャット使用による質疑応答、ブレイクアウトルーム使用による振り返りと意見交換、Google フォーム使用によるアンケート回答

成果：

本研修プログラムでは、5回の講演を実施した。

第1回の、「『資質・能力』を育成するパフォーマンス評価」の講演のアンケートには、「パフォーマンス課題を用いた評価で、いかに子供が身に付けた知識・技能や表現力、学ぶ姿勢などを見取り、評価につなげていくか、教員研修等を通して伝えていきたいと思う。」といった記述が見られた。このことから、講演内容を今後の授業改善や教員研修等に生かしていこうとする受講者の姿勢を感じる事ができた。

第2回の、「人」でつくる持続可能な社会の講演では、「先進的な取組を紹介していただいたので、地域と一緒に魅力発信に努めていき、故郷を笑顔にできる人材を育成していきたいと思う。」といった意見が挙げられるなど、実践に生かせる学校魅力化による地域創生についての具体を知ることができた。

第3回の、「個別最適な学びを通じた資質・能力の育成」の講演では、受講者から、「講演を聞いて、個別最適化された授業のイメージをより具体的にもつことができた。一斉授業の良さを大切にしつつ、個別最適化された学習の授業展開にも挑戦していきたいと思った。」という意見が聞かれた。このことから、講演内容を自身の取組につなげていこうという受講者の姿勢を感じる事ができた。

第4回の、「読み書き困難のある児童生徒への支援」の講演では、「合理的配慮について考えることができた。」「読み書きに関する具体的な支援のイメージがもてた。」という意見が聞かれた。また、振り返りと意見交換では、「県外の先生方と情報交換により他県の取組を知ることができた。」といった意見が聞かれるなど、学びの多い研修となった。

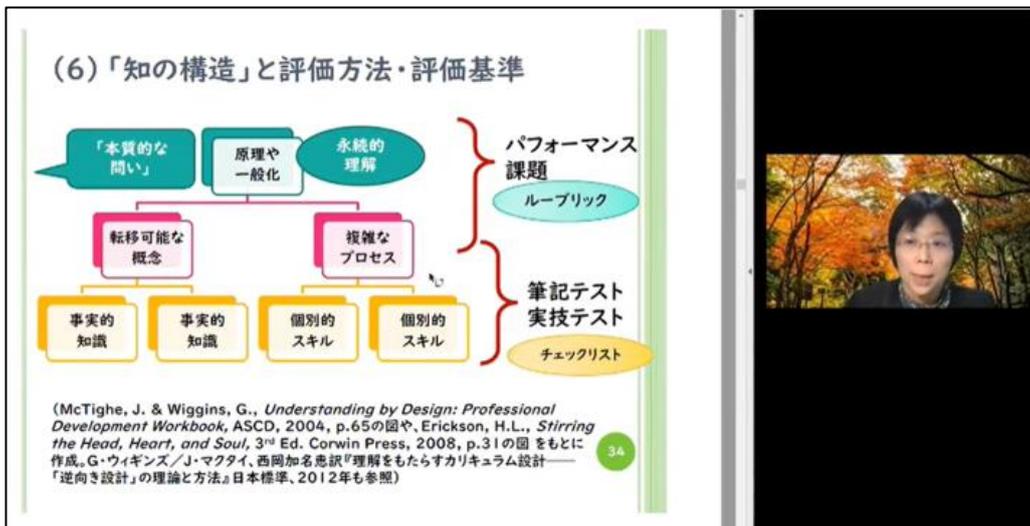
第5回の一人1台タブレット端末下における情報モラルの講演では、受講者から、「情報モラルを単独で取り上げるのではなく、人権教育や生徒指導と合わせて研修することで、より実践につなげることができるのではないかと実感した。」といった意見が聞かれた。また、振り返りでは、「他県の先生方とも交流でき、事例や共通の悩みなどを聞いて、とても参考になった。」という意見が聞かれた。

このように、それぞれの講演で受講者による活発な意見交換が行われ、講演内容を今後の授業改善や教員研修等に生かしていこうとする意欲も感じられたことから、教職員の自主的・主体的研修を奨励し、教職員の資質・能力の向上を図るという目的を達成することができたと考える。

アイデアや工夫したこと：

- Web ページや教育情報ネットワーク（県内教職員用のネットワークシステム）での情報発信により、県内外の教職員や教育機関、大学など幅広く広報活動を行った。
- 参加者が主体的に参加できるように、ブレイクアウトルームやチャットを利用して双方向性を担保した。
- 質問等はチャットに入力をお願いし、質疑応答の際に紹介、講師に回答をいただくことで、講演の進行を止めずに、受講者の疑問に答えられるようにした。
- ブレイクアウトルームにおいて、意識変容や行動変容につながるような情報交換ができるよう、話合いのテーマを事前に伝達した。また、他県からの受講者も多いため、他県の情報を得られるようにグループを編成した。

<写真・図など>



【資料を提示しながら講演を行う様子と受講者の様子】

※講演の後、受講者をグループ分けし、ブレイクアウトルーム使用による振り返りと意見交換を実施。